

受験番号： _____ 氏名： _____

2020年度（令和2年度） 理工学部 帰国生入試
機械知能システム理工学科 日本語による小論文課題表紙

<注意事項>

- 1) 配布物は、表紙1枚、小論文課題が記された用紙1枚、提出用原稿用紙3枚（横書き400字詰）、下書き用原稿用紙3枚（横書き400字詰）の合計8枚であり、試験終了後に配布物（合計8枚）はすべて回収します。
- 2) 小論文は、提出用原稿用紙を用いて、3枚（1200字）以内の原稿用紙の枠内に日本語でまとめて下さい。
- 3) すべての配布物に受験番号と氏名を記入して下さい。
また、提出用原稿用紙の下に1/3、2/3、3/3等の通し番号を入れて下さい。
- 4) 提出用原稿用紙に課題を書く必要はありません。
- 5) 表紙、小論文課題が記された用紙、下書き用原稿用紙の表裏はメモ用紙に使用してかまいません。

2020年度（令和2年度） 理工学部 帰国生入試
機械知能システム理工学科 日本語による小論文課題

人工知能とコンピュータ・通信技術などの進歩により、機械は急速に智能化しつつあります。従来、人間が行っていた製品の生産も機械が自動で行い、自動車は自動運転が当たり前になるかもしれません。そのような社会で、あなたは、“機械と人間の役割分担はどのようになるべきである”と考えますか。また、それに基づいて、“機械知能システム理工学科で何をどのように学びたい”と考えますか。自分の考えを1200字以内で論じてください。